



なかみち通信

VOL. 45



<http://nakamichi-takasi.com/>

《本会議質問》 魅力ある共生社会の実現を!

●新型コロナウイルス感染症の第三波が拡大し、感染への不安や収入減少など、厳しい困難に直面しています。区では、独自のPCR検査を開始。リスクの高い高齢者施設や、感染拡大の恐れがある学校勤務の方など約2万2千人を対象に無償で実施。

また、事業者の資金繰り支援のため、融資制度を来年3月まで延長。更には、区内共通商品券まつりなど、区内経済の活性化に努めます。

さて、令和2年第4回定例会が11月24日から12月9日

まで開会。区長提案の補正予算案69億8千万円余や20件の議案を審議しました。

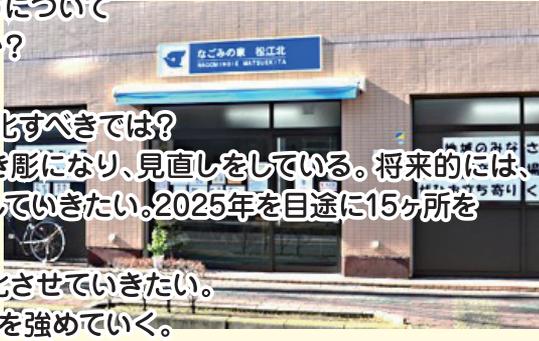
私は、一般質問に立ち、斉藤区長に対して5項目の質問を致しました。

この第45号では、「魅力ある共生社会の実現を!」をテーマに、①「なごみの家」のあり方、②「終活支援事業」の提案、③「角野栄子児童文学館」の魅力作りの提案、④「マンホールトイレ」の早期整備、⑤「松島地区区民施設」の早期完成などについてご報告させていただきます。

Q①「なごみの家」の今後のあり方について

- a. 今後の拡充は検討されるのか?
- b. 認知度を上げるべきでは?
- c. 地域のネットワーク作りを強化すべきでは?

A① a. 設置後5年経ち課題が浮き彫りになり、見直しをしている。将来的には、地域の共生社会の拠点にしていきたい。2025年を目途に15ヶ所を整備したい。
 b. 各地域の特色に合わせ進化させていきたい。
 c. 町会や地域とのマッチングを強めていく。



Q②「終活支援事業」について

- a. 引き取り手の無いご遺骨の現状は?
- b. 「終活支援事業」の実施は?

A② a. 平成28年は43件だったが令和元年は85件で倍増。
 b. 人生の最期まで安心して過ごしてほしい。おひとり様支援事業の利用は昨年3件だった。今後、所得制限等を見直しするなど事業の再構築を測る。



Q⑤「(仮称)松島地区区民施設」について

- a. 完成後の運営主体は?
- b. 広場の位置づけや名称は?

A⑤ a. 他の26の区民施設同様に業務委託とする。
 b. 施設と一体利用できる公園とし、かまどベンチなどの防災グッズを配置する。名称は、皆さんと相談し、地域から愛される施設にしていきたい。

Q③「(仮称)角野栄子児童文学館」整備について

- a. 小動物との触れ合い等を体感できる「ふれあいコーナー」設置を提案します。

A③ a. 豊かな自然が大切なため、「ふれあいコーナー」を参考にして魅力のある施設づくりを進めていきたい。



Q④避難所となる小・中学校の「マンホールトイレ」の早期整備について

- a. 災害時に学校周辺道路のマンホールを活用するのは課題がある。今後の計画を国の通知に基づき、早期に敷地内へ整備すべきでは?

Aa. 国のガイドラインに即して、10年以内の整備を目指す。また避難所開設訓練を通じて定期的な使用訓練を実施していく。

